

## 第74回役員会 議事要録

日 時：平成27年10月21日(木) 15:00～16:00

会 場：大学本館 E-703会議室

出席者：石原理事長、近藤副理事長、利島理事、片山理事、梶原理事、松尾理事、江本理事  
(オブザーバー) 中野(昌)監事、中野(利)監事、漆原副学長、柳井副学長

### 議 案

- 1 地域戦略研究所の設置について
- 2 事務職員等の昇任選考について
- 3 平成27年度冬季期末・勤勉手当及び給与改定等について

### 報 告

- 1 教員の採用について
- 2 第4回グローバルパイオニアシンポジウムの開催について
- 3 平成27年度卒業予定者の就職内定状況について

#### 議案1 地域戦略研究所の設置について

<質疑応答>

○FD事業とは何か。

○授業改善のことであり、教養部門の地域科目6科目のうち、主たる3科目を研究所の所員が受け持つため、その中で授業改善していきたいと考える。

○COC+事業に対応して規程改正したとのことであったが、事業には年限があることから、事業終了後はどうするのか。

○事業終了後に、規程改正の可能性はあると考えている。事業期間の規程である。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし

#### 議案2 事務職員等の昇任選考について

<質疑応答>

○対象者は全員受験させるのか。

○受験するかどうかは本人の意思である。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし

#### 議案3 平成27年度冬季期末・勤勉手当及び給与改定等について

<質疑応答>

○調整月額は上乗せ分になるのか。

○民間でいえば職責ポイントにあたるものである。給与の月額×支給月である。定年退職の方は、50月になるが、それに上乗せされるのが調整月額である。もらうためには一定の年数が必要である。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし

#### 報告1 教員の採用について

<質疑応答>なし

#### 報告2 第4回グローバルパイオニアシンポジウムの開催について

<質疑応答>

○ワークショップは観衆の前で行うのか。

- そうである。1チームが実施予定である。
- 事前にシナリオは準備しているのか。
- 映画のキャプチャーは事前に準備している。
- 映画のタイトルは何か。
- 月光の仮面である。
- 駅内の広告等で宣伝を行っている。

### 報告3 平成27年度卒業予定者の就職内定状況について

#### <質疑応答>

- 就職活動の後ろ倒しについて混乱が生じたと言われているが、学生から相談や苦情等あったか。
- 学生から相談や苦情等はあっていない。9月になって、企業から、内定辞退があったことによる追加の求人は来ている。学生からは、内定を保持したまま採用試験を受けるため、就職活動の期間が長くなったとの意見はあった。
- 学生より企業側に混乱があったという事か。
- 学生は1回限りの経験なのでこれが普通だと考えているようであるが、企業側は後ろ倒しになったことにより、採用活動期間が長くなり、学生の内定辞退によって改めて求人を行うという事態になった。
- 後ろ倒しにより授業の影響はあったか。
- 授業への影響は聞いていない。
- 今の3年生が4年生の経験が全く役に立たないので、不安になる可能性がある。今回、4ヶ月後ろ倒しになり、さらに2ヶ月前倒しするという動きもあり、対応できるのかという問題がある。大学側も就職問題懇談会等で、時間をかけていいやり方を検討する必要がある。
- 企業も試行錯誤の中で採用活動を行っているので、変わってくる可能性はある。景気の良し悪しも影響してくる。
- 就職活動の期間は長くなっている。大手は従前と変わらないペースで活動している。資本金が50億から100億の企業は、今頃採用活動している。企業間の採用活動にばらつきがある。
- 学生が行きたい企業とそうでない企業に差がある。企業も採用活動時期とは別に、いかに企業PRをして学生に来てもらうか、反省すべき点はある。中小企業がどう学生を集めるか、それができないと地方創生は成り立たない。
- 大手企業は早めに確保しており、中小企業が確保しきれていない。
- オワハラを受けている学生もいる。
- 企業から、内定を出すので就職活動を終わらせてほしいという要請を学生に行っている。そのような相談を学生から受けたことはある。学生には、就職活動を続けたいのであればその旨企業側に伝えるよう指導している。
- 守らないとどういうことになるのか。
- 企業名を公表される可能性がある。
- 市内企業の相談窓口について、1日当たり10名いかないこともあり、生産性が低いのではないか。
- 予約制にしており、1日4人程度が限度である。1人当たり1時間程度かかる。普段は、別途相談員を設けて対応している。
- 地元の中小企業の中でも頑張っているところもあるため、そこを学生にいかに理解させるかである。
- 商工会議所では、文系学生をインターンシップで中小企業に受け入れる取り組みを行う。